

## 笑気吸入鎮静法について

笑気（亜酸化窒素）は非常に体に優しく、すぐに排出されるため体にも残らない、吸入の麻酔薬です。主には全身麻酔の手術の際に使用されますが、低い濃度（30%程）で軽い全身麻酔（鎮静）を行う事で効果が認められています。鎮静された状態は、ぼんやりとした眠たいような状態になり、眠ってしまうこともあるようです。鎮静中は通常通り会話でき、記憶も残りますので、ご安心ください。

適応になる方は、虫歯の治療が難しいお子様や、治療に恐怖がある方、嘔吐反射がある方、全身的なご病気があり血圧の変動などを抑えたい方です。



### 使用法

まず鼻にマスクをしたのち、100%酸素を5分間ほどゆっくり深呼吸をして吸い、脱窒素を行う（脱窒素＝肺にすでに入っている空気中の窒素を排除しておかないと、笑気が肺の中に入れない）。

その後、数分位ごとに10%ずつ笑気の濃度を上げ、30%ほどまで上げる。

治療が終わった後は、5分くらい100%酸素を吸って肺内の笑気を追い出す（酸素を吸わないと、血中に溶け込んでいた笑気が一気に肺から出ようとして、拡散性低酸素症を起こす場合がある）。

### 鎮静後の注意点

鎮静後は安全の為、しばらく休まれてから帰宅する方が良いでしょう。また、車などの運転は控えた方が良く、徒歩が望ましいです。ふらつきが少し残る事がありますので、ご注意ください。その他の注意点は特にありません。

### 笑気吸入鎮静法の禁忌症

- ・ 妊娠初期
- ・ 体内に閉鎖腔のある患者（中耳疾患、ブラ、気胸など）
- ・ 風邪、アレルギー性鼻炎、アデノイド
- ・ 協力の得られない患者
- ・ 過喚起症候群
- ・ パニック、ヒステリー症候群
- ・ 気管支喘息